

令和7年5月1日

関係各大学長
関係各学部長 殿
関係各機関長

熊本大学大学院教育学研究科長
藤 田 豊
[公印省略]

教員の公募について（依頼）

謹啓 時下ますます御清栄のこととお慶び申し上げます。

熊本大学では、若手研究者が自立して研究を推進できる環境を整備し、研究リーダーとなる教員・研究者の育成を目的とした公正で透明性の高い人事制度であるテニュア・トラック制を構築しています。この制度では、挑戦的かつ独創的な研究発想を得た若手研究者が、その発想を展開すべく自由に研究を行える環境を用意し、実績のみならず、研究提案を評価して研究者（テニュア・トラック教員；任期あり）を公募により採用し、資金・スペースなどを重点配分して研究活動を支援します。採用後一定期間経過した後に審査を実施し、テニュアポスト（任期なし）の付与の可否を決定します。

さて、このたび大学院教育学研究科では、下記の要領により教員の公募をすることとなりました。

つきましては、貴学及び関係機関に御周知いただき、適任者がございましたなら、御推薦くださるようお願い申し上げます。

敬 具

記

- 1 職名及び人員 ヤングテニュアトラック教員 准教授または講師 1名
- 2 所属（講座・専攻・学科等） 大学院教育学研究科 英語科教育講座（教育学部併任）
- 3 専攻（担当）分野 英語科教育（指導法）、英語学、英語文学のいずれかの領域、及び関連分野
- 4 担当授業科目
 - （1）学 部：
英語科教育（指導法）領域の場合：初等英語（小学校の教科に関する専門科目）または初等英語科教育（小学校の教科指導法に関する専門科目）、英語科教育 等

英語学領域の場合：英語学、英語学演習 等

英語文学領域の場合：英語文学、英語文学演習 等

領域共通担当科目：グローバル教育課題探究、教養教育必修外国語科目、卒業論文 等
 - （2）大学院：教科の授業開発・実践研究（イメージ教育含む）、小学校英語の授業デザイン、実践課題研究、外国語コミュニケーション実践

※上記のうち、実際に担当いただく授業科目は採用される領域に応じて、着任後、相談の上決定します。

なお、本学の将来構想に関わって担当授業科目に変更が生じる可能性があります。

5 応募資格条件

- (1) 大学院修士課程を修了した者、または同等の研究業績を有すると認められる者
 - (2) 教育学研究科（教職大学院）における授業担当及び研究指導が可能な者
 - (3) イマージョン教育に関心のある者
 - (4) 英語（中学・高校）の教員免許を有する者が望ましい
 - (5) 教員養成に熱意を持ち、学部教員養成教育における授業担当が可能な者
- ※ 熊本大学はヤングテニユアトラック制度を構築し、若くて優秀な研究者の雇用促進に努めます。

6 採用予定日 令和8年4月1日

7 提出書類

- (1) 履歴書（写真添付，別添同封の本学部所定の様式による） 1 通
※産前産後の休暇又は育児若しくは介護のための休業（以下「育児等という。」）を取得した者及び育児等のための短時間勤務を行った者に対しては，当該期間に相当する期間を教育歴（勤務年数）に含めます。
- (2) 研究業績一覧 1 通
※論文，著書，その他の研究報告等に分けて記載し，査読付き論文には○印を付して下さい。
- (3) 主要業績（5編以内）の現物（別刷）またはコピー各 1 部
- (4) 科研費などの外部資金の獲得状況 1 通
※採用予定年度を除く過去5年間の官公庁や公的機関の科学研究費補助金，研究助成金等外部資金の獲得実績に関して，対象期間において，育児等を取得した者及び育児等のための短時間勤務を行った者に対しては，当該期間に相当する期間を遡及して対象期間に加えます。
- (5) 今後の研究と教育についての計画と抱負 1 通（2,000字程度）
- (6) 照会先2名の氏名・所属・連絡先 1 通
- (7) 応募者の連絡先（電話番号，e-mailアドレス）を記した書類 1 通
※ 履歴書及び研究業績の書き方や記載例は，以下URLの下方に掲載しております。
<https://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakujouhou/saiyou>

8 応募締切日 令和7年6月30日（月）（必着）

- 9 応募書類送付先 〒860-8555 熊本市中央区黒髪2丁目40番1号
熊本大学教育学部長 藤田 豊 宛
（注） 応募書類の封筒には「ヤングテニユアトラック教員応募書類」と朱書きの上，書留又は簡易書留郵便で送付すること。

- 10 照会先 熊本大学教育学部英語科教育講座主任 島谷 浩
TEL (FAX) 096-342-2611 (096-342-2611)
電子メール shima@educ.kumamoto-u.ac.jp

11 研究費・研究環境等

- (1) 採用された年度から5年度間は、年間100万円の研究費を措置します。
- (2) 研究室および実験室を用意し、研究の支援等を行うメンターとして、大学院教育学研究科の教授を充てます。

12 労働条件等

- (1) 職務内容 （雇入れ直後）准教授又は講師として担当業務に従事する
（変更の範囲）熊本大学の定める業務
- (2) 勤務形態 同意に基づく専門業務型裁量労働制
勤務時間は職員の裁量に委ねるものとし，1日の勤務時間は7時間45分とみなす
- (3) 任期の定め あり 採用後5年間（テニユアトラック）

※ 採用３年経過後に中間評価を行い、概ね採用４年経過後にテニユア審査を行います。審査の結果テニユアの資格があると認められた場合は教育学研究科の教員（任期の定めなし）となります。

また、テニユア審査の結果、上位職の資格があると認められた場合は、昇任となる場合があります。

※ 長期休暇（産前産後の休暇、育児休業、介護休業）及び天変事変により長期間研究の遂行に支障がある場合は、相当する期間を更新します。ただし、本学での通算雇用期間は１０年を超えることができません。

- (4) 試用期間 6 か月
- (5) 勤務場所 (雇入れ直後) 熊本大学黒髪キャンパス
 (変更の範囲) 熊本大学の定める範囲
- (6) 時間外労働 時間外、深夜、休日労働の有無：有
- (7) 賃金等 国立大学法人熊本大学２号年俸制適用職員給与規則に定めるところによる
- (8) 社会保険 文部科学省共済組合、雇用保険及び労災保険に加入
- (9) 雇用者 国立大学法人熊本大学

13 その他

- (1) 選考過程で面接を実施する場合は、旅費等必要経費は応募者負担とします。
- (2) 提出書類は返却しません。希望があれば、着払いにて返却します。
- (3) 熊本大学はダイバーシティを推進しています。選考にあたっては、男女共同参画社会基本法に則り、適正に行います。
(熊本大学ダイバーシティ推進室ホームページ <https://diversity.kumamoto-u.ac.jp/>)
- (4) 選考にあたっては、雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律第８条の規定に基づき、女性教員の在籍率を改善するための措置として、公正な評価に基づき職務に必要とされている能力が同等と認められる場合は、女性を優先的に採用します。